

混合交通を観察する
DOCUMENT
●series—214
Eye



後部座席同乗者はシートベルトを着用しているか?

● WHY

今年10月に警察庁と(社)日本自動車連盟(JAF)がシートベルトの着用状況を調査した結果、一般道路での着用率は、運転席95・0%、助手席86・3%に対し、後部座席は8・8%だった。運転席および助手席に乘車する際には、シ-



後部座席でシートベルトを着用している人は少なかった

トベルトの着用が義務づけられている。後部座席の場合は努力義務のままであったが、2008年6月までに施行される改正道路交通法では後部座席での着用も義務化される。休日の大型商業施設周辺の道路で、乗

- 観察場所/ 神奈川県横浜市都筑区池辺町付近
- 観察日/ 11月3日(土曜日)
- 天候/ 晴れ
- 観察時間/ 10:00~12:00
- 観察者/ 3名

●後部座席同乗者のシートベルト着用状況を観察する
乗用車の後部座席同乗者423人中
シートベルトを着用していたのは28人(6.6%)
幼児のチャイルドシート使用は、102人中57人(55.9%)

● WATCHING



シートベルトを着用していない後部座席同乗者

親が着用してこそ子どもも着用

用車の後部座席同乗者のシートベルト着用状況を観察してみた。

観察場所は横浜市北部にある大型商業施設近くの一般道路。この日は休日ということもあり、多くのクルマが午前中からこの大型商業施設周辺を通行していた。後部座席同乗者は幼児から高齢者まで年齢層は幅広かった。

2時間の観察の結果、乗用車の後部座席同乗者は合計525人。このうち、小学生以上は423人で、シートベルトを着用していたのは28人(6.6%)にとどまった。また、幼児(6歳未満)のチャイルドシートの使用は102人中57人(55.9%)だった。

成人以上でシートベルトを着用している人はほとんどが女性であった。母親と思われる女性が後部座席でシートベルトをしている場合、その横にいる小学生と

● PROPOSE

すべての席で自主的にシートベルトの着用を

思われる子どももシートベルトを着用していた。高齢者でシートベルトを着用していた5人は、いずれも後部座席に一人で座っているケースであった。高齢者の隣に孫と思われる子どもがいる場合は、シートベルトを着用せずに子どもの世話をしたり、抱っこしている例が観察された。

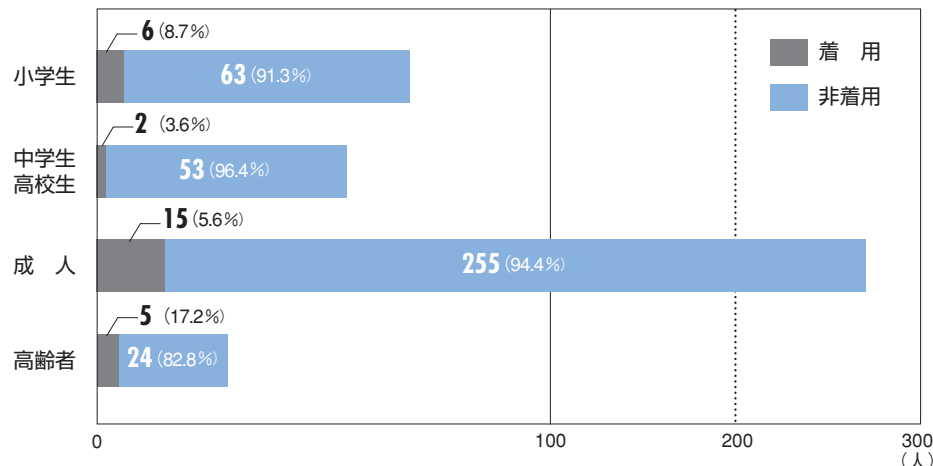
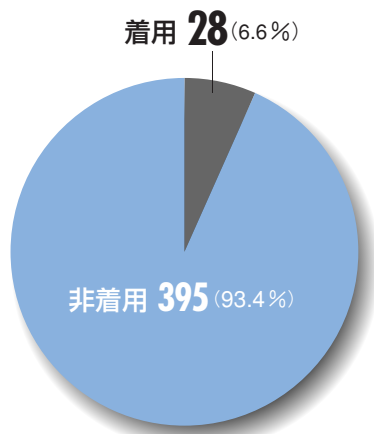
後部座席同乗者がシートベルトを着用していないと、衝突事故の際に身体が飛ばされて、前席の乗員にダメージを与えたり、車外に放出されてしまう。今後、後部座席でのシートベルト着用が義務化されるが、本来は安全のために自主的に着用してほしい。

今回の観察では、後部座席に座っている親がシートベルトを着用していれば、隣の子どもの着用しているという例があった。まず大人が模範となって自分自身



シートベルトを着用せずにクルマの窓に身を乗り出す子ども

●後部座席同乗者(小学生以上)のシートベルト着用状況(423人中)



※小学生(6~12歳)、中学生・高校生(13~18歳)、成人(19~64歳)、高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による